

苫小牧市医師会
医師
村上 進

北海道の花粉尘症について

北海道には、スギは自生しておりませんので、本州に見られるようなスギ花粉症は存在していませんが、以下に述べる三種類の花粉尘症が確認されています。

① シラカバ花粉症

北海道特有の花粉尘症で四月中旬から六月上旬にかけて発症します。本州にもシラカバは自生していますが、高地にのみ限ら

シラカバなど三種類確認

れていますのであまり問題にはなりません。北海道では都市部の近くにシラカバが自生しておりますので、臨床上問題となります。確認されてからまだあまり年月がたっていないませんが、ここ数年、急速に増加の傾向が認められます。

② イネ科雑草花粉症

例年五月下旬から八月下旬にかけて発症します。イネ科の雑

草の中でも、主にカモガヤ、オオワガエリ（チモシー）の花粉尘が原因となります。特に胆振日高地方では、オオワガエリが馬や牛の飼料として広く分布しておりますので、臨床上大きな問題となります。またカモガヤは日本全国で雑草として分布していますので、日本全国どこでも発症する可能性があります。

③ ヨモギ花粉症

例年八月下旬から十月下旬にかけて発症します。本州地方ではこの時期にはブタクサの花粉尘が発症しますが、北海道にはブタクサがほとんど分布しておらず、かわりに同じキク科の植物であるヨモギが広く分布しております。

ヨモギは主に山の中に群生しておりますので、山に近い都市

部では高率に患者発生を認めます。なお、よく誤解をうけますが、アレルギーの原因になるのはヨモギの花粉尘ですので、ヨモギの葉を食用にしてもアレルギーを発症することはありません。



お問い合わせは、苫小牧市医師会
電話 33-4720へ